

## ＜厚生労働省委託事業＞

### 2022（令和4）年度 手話通訳士現任研修（遠隔地研修） 開催要項

- 1 目的 手話通訳士に対し、司法や高等教育機関等の専門分野で求められている知識と技術について研鑽する機会を設けることにより、あらゆる場面での確かな手話通訳ができるよう資質の向上を図ることで、聴覚障害者の更なる社会参加に寄与することを目的とする。
- 2 実施主体 社会福祉法人 全国手話研修センター
- 3 対象 手話通訳士の資格を有する方
- 4 研修内容（諸事情により変更する場合があります）
  - (1) テーマ「手話通訳士の倫理綱領をもう一度考えよう」
  - (2) カリキュラム

ア【講義研修】インターネットを活用し、ご自宅等で都合の良い時間に、繰り返しご視聴頂くことができます。配信開始 2022年9月1日（予定）～終了 2023年3月31日

2022 年度	倫理規定とは何か ～通訳分野を中心に様々な分野から学ぶ～	1.5H	金城学院大学 教授 水野 真木子氏
	手話通訳士倫理綱領を紐解く	1.5H	一般社団法人 日本手話通訳士協会 会長 鈴木 唯美 氏
	手話通訳の養成のこれからを考える～登録手話通訳者の実態調査より～（仮題）	1.5H	手話通訳者等養成制度検討委員会 委員長 近藤 幸一 氏
	手話通訳活動あり方検討委員会の事例から学ぶ 危機管理（リスクマネジメント）	1.5H	一般社団法人 全国手話通訳問題研究会 手話通訳活動あり方検討委員会 委員 原田 洋行 氏
	*ICTを活用した手話通訳の現状・今後の動向 ～ろう者の立場から～	1.5H	一般財団法人 全日本ろうあ連盟 本部事務所長 倉野 直紀 氏

\*は、2022年度手話通訳者現任研修における講義と共通です。

\*2022年度手話通訳士現任研修にお申込み頂いた方は、以下の2021年度・2020年度の講義映像を併せてご視聴頂くことができます。

2021年度 「新しい生活様式と手話通訳のあり方」	災害に関する制度の知識と気象用語について	江原 こう平 氏
	東日本大震災から10年の節目に	松本 隆一 氏
	手話通訳者のメンタルヘルスケアについて	重田 博正 氏
	コロナ禍の首長記者会見における手話通訳について	高井 洋 氏
	ICTと手話通訳	宮澤 典子 氏

2020年度 「ろう児の 言語獲得」	デフファミリー3児ママの子育て	古 香氏
	言語獲得における医学的背景	中澤 操氏
	聞こえない子どもの早期支援心理・ことば・家族	河崎 佳子氏 久保沢 寛氏(演習)
	乳幼児期の手話言語の獲得が与える影響	武居 渡氏

#### イ【実技研修】(5H 10:00~16:00 予定)

「手話通訳場面における危機管理(リスクマネジメント)を考える」

講師：一般社団法人 日本手話通訳士協会 草野 真範氏 渡部 芳博氏

\*インターネットによる対面方式(Zoom)で実施します。お申込の際、参加可能日を入力してください。9月上旬に参加確定日をメールでお知らせします。

①11月14日(月) ②12月10日(土) ③1月8日(日) ④2月23日(木・祝)

#### ウ【自宅学習課題レポート】

テーマ「手話通訳士倫理綱領について」

\*手話通訳士倫理綱領に掲げられた条文から1つを選び、体験や考察(意見)等について800字程度で記述してください。

#### 手話通訳士倫理綱領

私たち手話通訳士は、聴覚障害者の社会参加を拒む障壁が解消され、聴覚障害者の社会への完全参加と平等が実現されることを願っている。このことは私たちを含めたすべての人々の自己実現につながるものである。

私たち手話通訳士は、以上の認識にたつて、社会的に正当に評価されるべき専門職として、互いに共同し、広く社会の人々と協同する立場から、ここに倫理綱領を定める。

1. 手話通訳士は、すべての人々の基本的人権を尊重し、これを擁護する。
2. 手話通訳士は、専門的な技術と知識を駆使して、聴覚障害者が社会のあらゆる場面で主体的に参加できるように努める。
3. 手話通訳士は、良好な状態で業務が行えることを求め、所属する機関や団体の責任者に本綱領の遵守と理解を促し、業務の改善・向上に努める。
4. 手話通訳士は、職務上知りえた聴覚障害者及び関係者についての情報を、その意に反して第三者に提供しない。
5. 手話通訳士は、その技術と知識の向上に努める。
6. 手話通訳士は、自らの技術や知識が人権の侵害や反社会的な目的に利用される結果とならないよう、常に検証する。
7. 手話通訳士は、手話通訳制度の充実・発展及び手話通訳士養成について、その研究・実践に積極的に参加する。

1997(平成9)年 5月4日制定

参考文献：『みんなで学ぶ手話通訳士倫理綱領』(一般社団法人 日本手話通訳士協会 発行)

一般社団法人 日本手話通訳士協会 ホームページ URL: [www.jasli.jp/](http://www.jasli.jp/)

5 お申込の流れ 全国手話研修センターホームページから個人で直接お申込み下さい

**【お申込受付期間】** 2022年7月11日（月）午前10時～8月24日（水）

**【お申込み手順】**



①全国手話研修センターホームページへアクセス <http://www.com-sagano.com>

②トップページ内「手話通訳士現任研修」をクリック（7月11日からアクセス可能）

③「申込マニュアル」と書かれたボタンが表示される→クリックして手順を確認

④手順に沿って、画面上に必要項目を入力→送信をクリック

⑤「申込を受け付けました」というメールが届く→メールに記載の振込先口座へ研修費用を振り込む

⑥振込から3～4日後に「振込を確認しました」というメールが届く→メールに記載の方法で受講開始

※上記⑤⑥のメールが届かない場合は、カスタマーセンターへご連絡をお願いします。

※公費でご受講される場合のお手続き方法、および請求書の発行についても、上記「申込マニュアル」に詳細を記載しておりますのでご確認ください。

6 研修費用 6,000円（講義＋実技）

**【お支払い期間】** 2022年7月11日（月）～8月25日（木）

※期間内のお支払いが確認できなかった場合、自動的にキャンセルとなります。ご了承ください。

※講義のみ、実技のみのお申込みはできません。

※講義資料はいずれも各自でダウンロード（印刷）頂けます。講義資料の郵送をご希望の場合は、別途600円が必要です。研修費と共に振込みください。なお、郵送できる資料は2022年度の講義資料のみです。

7 受講修了条件 以下のすべてを満たされた方に修了証を発行します（2023年3月末発行予定）

①実技研修の受講

②2023年2月28日までに2022年度講義映像を全て視聴完了

※ご自身で視聴状況を確認する方法については、受講開始前にお送りするメールにてご案内します。

③自宅学習課題レポートを期限までに提出

※実技研修と自宅学習課題レポートに関する詳細は、別途メールでお知らせします。

8 お問い合わせ

**【研修内容について】** 社会福祉法人全国手話研修センター手話事業課（平日9:00～18:00）

〒616-8372 京都市右京区嵯峨天龍寺広道町3-4

TEL 075-873-2646 / FAX 075-873-2647 / E-mail [jinzai2@com-sagano.com](mailto:jinzai2@com-sagano.com)

**【お申込み・視聴方法について】**

障害者放送通信機構カスタマーセンター（平日10:00～17:00）

TEL：06-6242-6501 / FAX：06-6242-6502